

NPO法人ムーミンの会 あそびの杜保育園自己点検・自己評価表 2017年度

法人の理念

- ・平和と平等を希求し、子どもの人権を尊重しながら、保育を必要とする児童の適切な保護とよりよい成長と発達を保障します。
- ・家庭と連携して、子どもの1日24時間の生活と発達を保障します。

保育方針

保護者との緊密な連携の下、次のような方針で一人ひとりの発達のプロセスを重視しながら保育をしていく。

*子育ての科学に基づき、ヒトとしての生体の生活リズムを守り育て、子どもの発達を保障する保育

- ①生活に科学的視点をもつ保育 ②ヒトの発達を保障する保育 ③統合保育・障害児保育
- ④快食保育 ⑤仲間と向かい合い育ち合う保育

保育目標

- ①ヒトとしての生体の生活リズム ②直立と直立状二足歩行と運動の巧みさ
- ③道具をつくる創造的な手の働きと手指の巧緻性
- ④ことばと認識力 ⑤精神力(言語性、行為性、社会性、創造性、感情性、自我のコントロール)
- ⑥自律性と自立性を育てる

*今年度の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください

A・B・C・Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。

A…大変良い B…良い C…一部検討を要する D…改善を要する

*なお項目ごとに意見・改善策を記述してください。

◎保育の計画の編成と実践に関する評価 (全職員44名を対象に実施)

項目	内 容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標	①保育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか		○			保育参観以外で保護者の要望等が分かるアンケート調査などがあれば実施し、保育に反映していきたい。
	②目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	③目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	④目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	⑤目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育	①保育計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			全体の発達だけでなく、個々の園児の育ちの差も考慮している。
	②保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	③環境の構成を意識した保育や課程を常に工夫しているか。		○			
	④素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	⑤評価結果をもとに保育の改善に努めているか。		○			
時程	①1日の流れ(テイレープログラムなど)は現行のまままでよいか。	○				生体の生活リズムに沿って作られているので現状のまままでよい。
行事	①行事の種類や実施回数は適切か。		○			行事のねらいや計画が不十分な時がある。
	②行事の狙いを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	③乳幼児の活動を明確にし、自主的・実践的な活動か。	○				
	④計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	⑤保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎保育の計画の編成と実践を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌体制	①能率的・合理的な運営組織になっているか。		○			個々の経験やスキルに合わせて分担する事もある。クラス内では協働できていたが全体では難しかった。
		②職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		③職員の配置は適材・適所か。		○			
		④係りや仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運営	①各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			早めの会議や打ち合わせを設定し、全員が実施して集まるようにし、内容をもっと共有しなければと思った。
		②職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく、施設の運営に関わっているか。		○			
		③打ち合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	クラス経営	①年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				クラス担任の人数が多く、話し合う時間をとりづらかったが、研修時に保育が手薄になってしまう時もあるので工夫が必要かと思う。
		②年齢別・クラス目標は、子どもの実態に即しているか。	○				
		③目標に迫る短期・長期のねらいは適切か。		○			
		④同年齢および異年齢間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		⑤意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
		⑥評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	①年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			毎月の避難訓練は必ず行い、実際に起こりうることを想定し、対策を職員間で常に考え、話し合うようにしている。ろげっと保育園で行われた交通安全指導はためになった。
②避難訓練・交通安全指導を、計画的に基づいて適切に実施して		○					
③健康・安全な生活に必要な習慣や態度の育成のために、家庭への啓発をおこなっているか。		○					
④子どもの安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○					
研究・研修	所内	①研究主題は、保育目標の具体化につながるものであるか。	○			研修を通して子どもの理解につながっているが、研修時に保育が手薄になってしまう時もあるので工夫が必要かと思う。	
		②所内研修の計画・運営は適切か。		○			
		③研究の成果を日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させているか。	○				
		④研究の実践により、子どもへの理解が深まっているか。	○				
	所外	①各種研究会、研修会、講習会への参加態度の充実を図っているか。		○			
		②各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			
情報について	①子どもや保護者に関する個人情報適切に取り扱っているか。	○				所外の保育の方法がわかってとても勉強になった。	
	②公文書收受、発送、処理、保管は適切か。	○					
	③各表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○				
施設・設備	①施設内外の設備の安全点検は計画的か。		○			安全点検はしっかり行っている。掲示する場所がやや少ないと思う。	
	②遊具・用具等を活用しやすく整理・保管しているか。		○				
	③不審者等に対応する周致な配慮を行っているか。		○				
	④掲示板・掲示場所等を有効に活用しているか。	○					
出納・経理	①各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○			事務の職員が適切にやってくれている。	

項目	内 容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれた保育所作り	施設間交流・連携	①他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○			5歳児は幼稚園や小学校との交流があるが他の学年はあまり機会がないのであってもよいと思う。また、定期的に学童の子がベビーシッターとして来てくれるという交流があっても良いと思う。
		②他施設等の乳児・児童生徒などと触れ合うなかで、子どもが楽しく過ごし、充実感をもつことができるような配慮や援助・支援を行っているか		○			
		③指導者同士が打ち合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
		④参観や保育・授業などに参加するなどして、幼稚園・小学校・療育機関等の保育・教育を理解しているか。		○			
		⑤日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○			
	家庭・地域社会と	①参観時間を制限せず、誰でも参観できる日を設定しているか。		○			いつでも参観してもらって良いとは思いますが、希望する人がいない。お知らせ等で自由に参観できるなど知らせてはどうかと思う。
		②保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		③子どもの興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		④地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○				
	子育て支援の推進	①地域の子育て支援センターとして、園庭や保育室などを開放しているか。		○			当園は支援センターではないが、同法人のろぜっと保育園の子育て支援は充実していると思う。保護者を対象とした学習会は定期的に行っている。
		②地域に住む子ども同士、あるいは親子が一緒に遊ぶことができる		○			
		③[子育てについて]など保護者を対象とした学習の機会を設定してような場の設定を行っているか。	○				
		④職員による子育てに係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		⑤医療機関、児童相談所などの専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報発信	①保育所便り、クラス通信、ホームページなどで施設の情報を提供しているか。	○				情報は常に発信していて発信方法、範囲は適切だと思う。
		②行事や子育て支援事業などを、地域の連絡会や児童施設、小学校などに対して周知している。	○				
	外部評価	①第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○				第三者評価を受け運営に反映している。
		②地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○				

中長期的な目標の明文化

- ・他事業所の職務内容を知ったり意見交換を行ったりして、自園の保育を振り返る。
- ・保育の質を深めていくために、学習、研修を行い、あそび方を工夫し、保育を充実させていく。
- ・法人(園)の方針、目標などを新人保育士、保護者に分かりやすく、正しく伝える工夫をし、職員の知識を向上させていく。